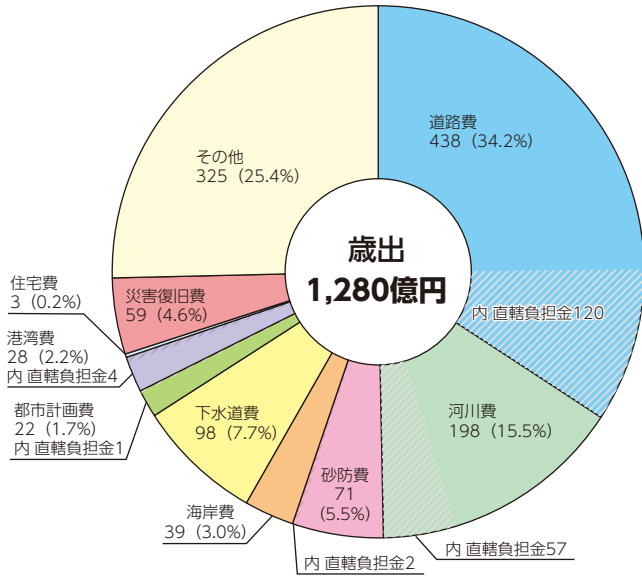
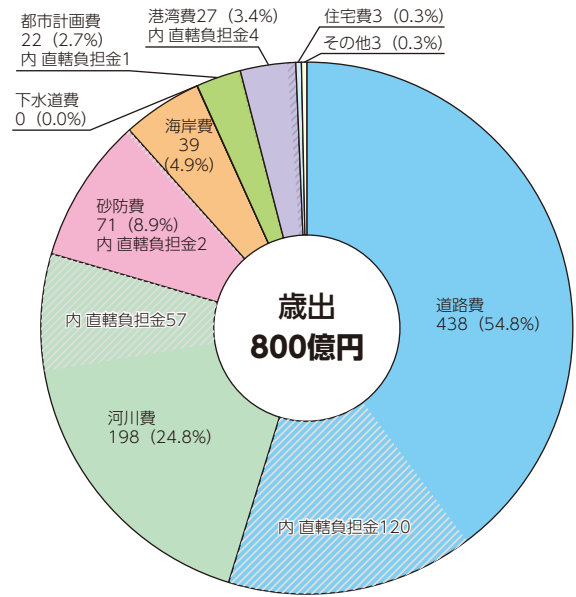


令和3年度県土整備部当初予算



※2月補正予算含みベース（令和2年度2月補正予算+令和3年度当初予算）としています。
 ※特別会計（港湾整備事業）1.6億円、企業会計（流域下水道事業）242.4億円を含みます。
 ※数値は四捨五入によるため、内訳と合計が一致しないことがあります。

令和3年度県土整備部一般会計公共事業当初予算

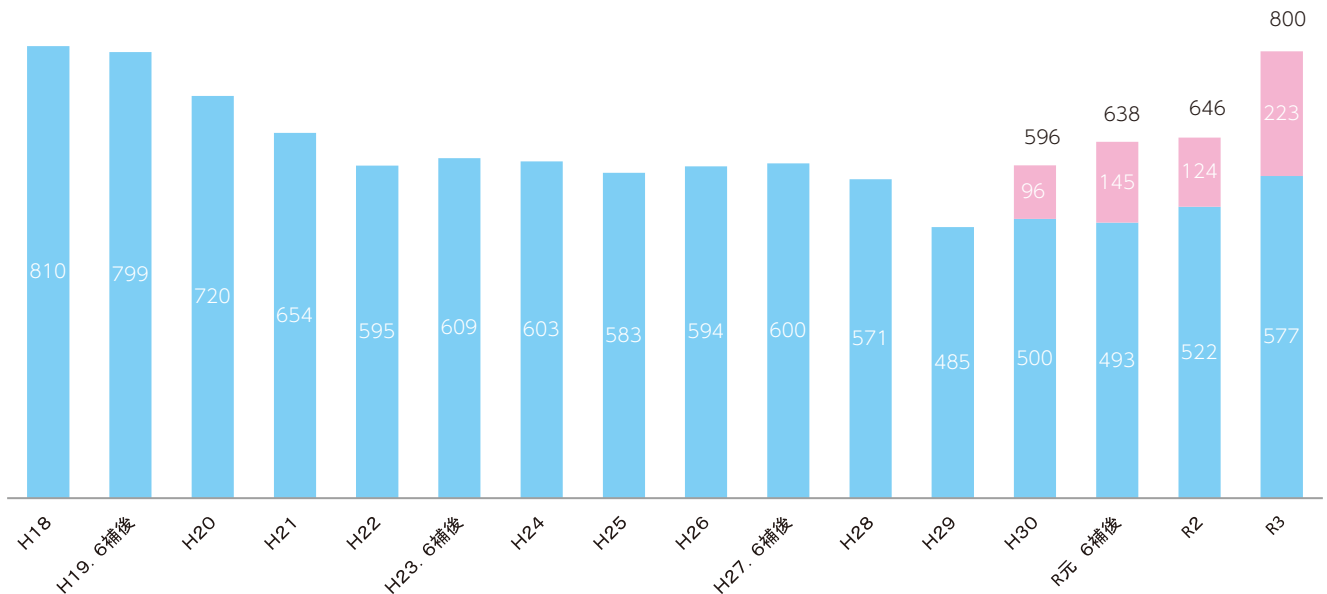


※2月補正予算含みベース（令和2年度2月補正予算+令和3年度当初予算）としています。
 ※受託公共事業、災害復旧事業を除いています。
 ※数値は四捨五入によるため、内訳と合計が一致しないことがあります。

(単位：億円)

県土整備部一般会計公共事業 当初予算の推移

■うち通常分 ■うち国土強靱化分等



※平成19,23,27,令和元年度は6月補正内付け後予算となります。
 ※令和3年度は2月補正予算含みベース(令和2年度2月補正予算+令和3年度当初予算)としています。

県土整備部

令和3年度 of 取組方針

- (1) 令和3年は紀伊半島大水害および東日本大震災から10年の節目の年に当たります。
近年の激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な県土づくりが不可欠です。このため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に講じ、防災・減災、国土強靱化を強力に推進します。「3か年緊急対策」で残る取組の加速化に加え、インフラの老朽化対策やミッシングリンクの解消、流域治水対策等を加速します。
- (2) 暮らしの安全・安心を実感していただけるよう身近な課題への対策を強化します。
警察等と連携した路面表示の改善や通学路等の交通安全対策、官民連携による河川堆積土砂撤去等を加速します。また、良好な住生活環境を保全するため、流域下水道の整備、住宅・建築物の耐震化、県営住宅の改修を推進します。
- (3) コロナ時代の社会変容に対応し、インフラへの新たな価値を創造しつつ、豊かで活力ある地方創生を実現します。
このため、未来も見据えながら、高度な管理を実現するインフラDXや、駅周辺における公共空間の再生、地元との協働を含めたグリーン化、都市公園を活用したワーケーション等を推進します。
- (4) 令和3年度に開催される「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」に向け、会場へのアクセスルートの開通に向けた整備を着実に推進します。さらに、両大会に向けた道路維持管理について、安全かつ快適な移動を確保するため、必要な対策を実施します。
- (5) 質の高い社会資本ストックを形成するとともに、地域経済を下支えするため、「第三次三重県建設産業活性化プラン」に基づく労働環境の改善やICTの活用、不当要求対策の強化等に取り組みながら、公共事業を効率的かつ円滑に実施し、早期の執行を確保します。